

アンケート調査結果報告

【目次】

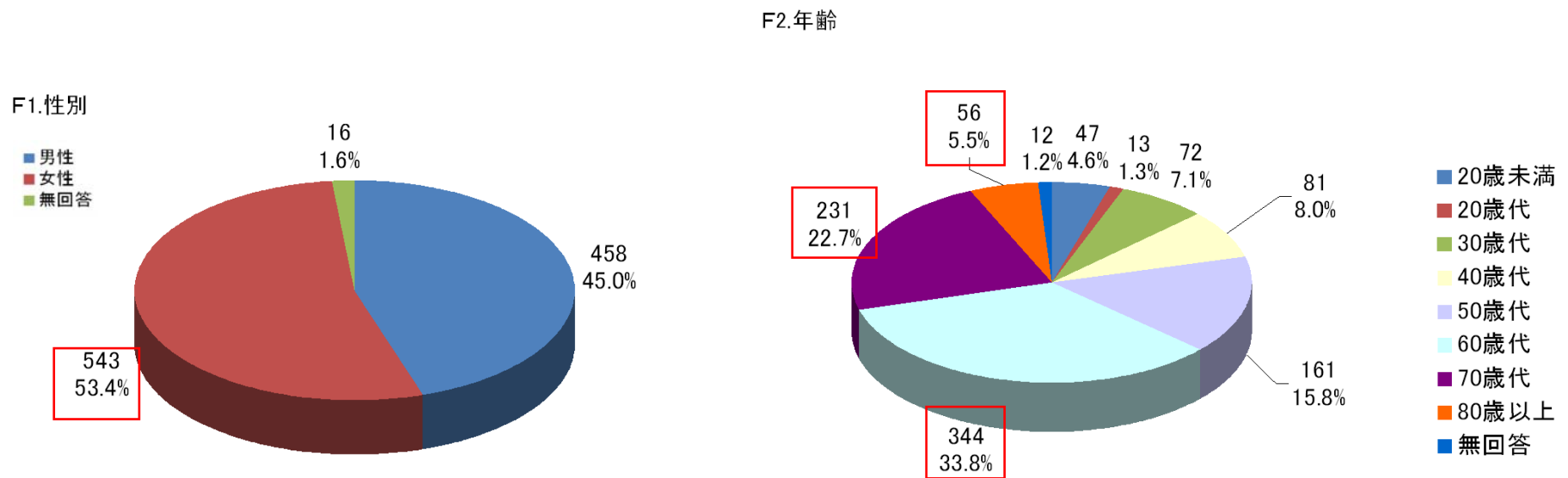
1. 回答者の属性	...	1
2. 訓練開始のサイレン、サイレンが聞こえなかった地区	...	2
3. 避難開始時刻の比較	...	3
4. 避難時間の比較	...	4
5. 避難手段の比較	...	5
6. 渋滞に巻き込まれたか、巻き込まれた地区の内訳	...	7
7. 渋滞に遭遇した時刻の比較	...	8
8. 車を使う重要性の比較	...	9
9. 避難ルートと渋滞箇所	...	10
10. 東西方向の交通量の比較	...	13

平成25年7月

亘理町

1. 回答者の属性

- 回答数は、1,017件であった。
- 参加者の半数以上が女性であった。(53.1%)
- 参加者の63.3%が60歳以上の人だった。

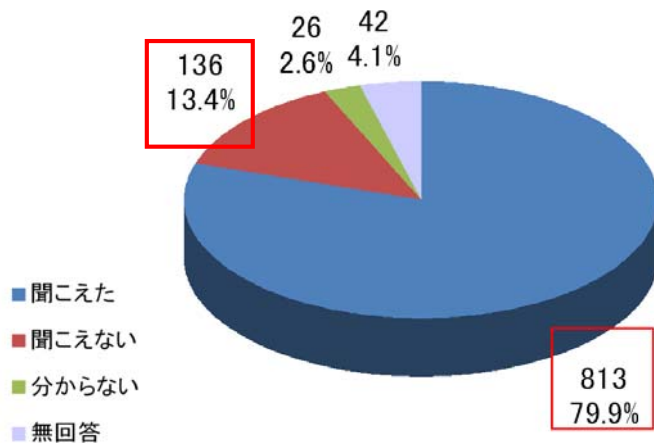


全人口	世帯数	60歳以上人口	60歳以上人口比率
33,532人	11,358世帯	11,171人	33.3%

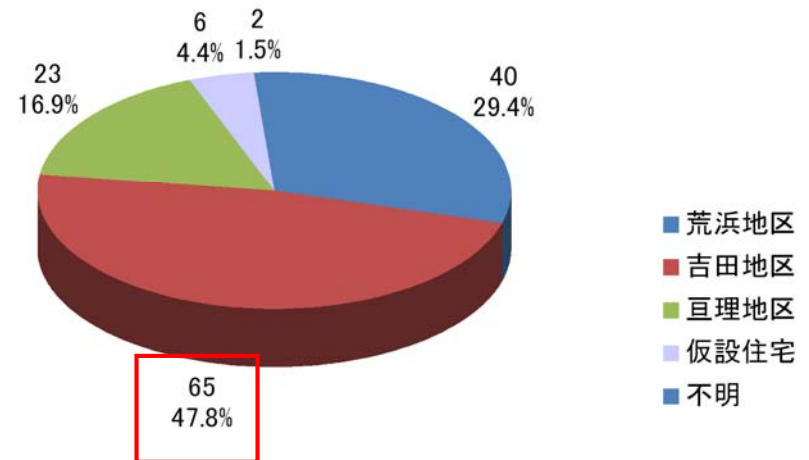
2. 訓練開始のサイレンの聞こえなかった地区

- 参加者の約80%が、訓練開始のサイレンが聞こえたと回答している。
- 一方で、訓練参加者の13.4%の人が「聞こえない」と回答している。
- 訓練開始のサイレンが聞こえなかった人は、吉田地区が最も多かった。(65人)

問1.訓練開始のサイレン



問1.訓練開始のサイレン(聞こえなかった人の地区)

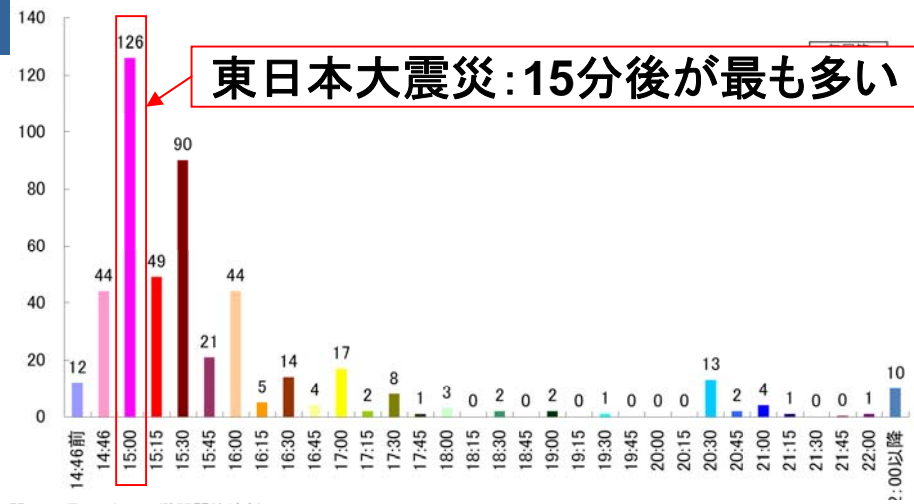


項目	参加人数	サイレンが聞こえなかった人数	サイレンが聞こえなかった人の比率
吉田地区	534	65	12.2%
荒浜地区	202	40	19.8%
亘理地区	195	23	11.8%
逢隈地区	43	0	0.0%
仮設住宅	15	6	40.0%
不明	28	2	7.1%
合計	1,017	136	13.4%

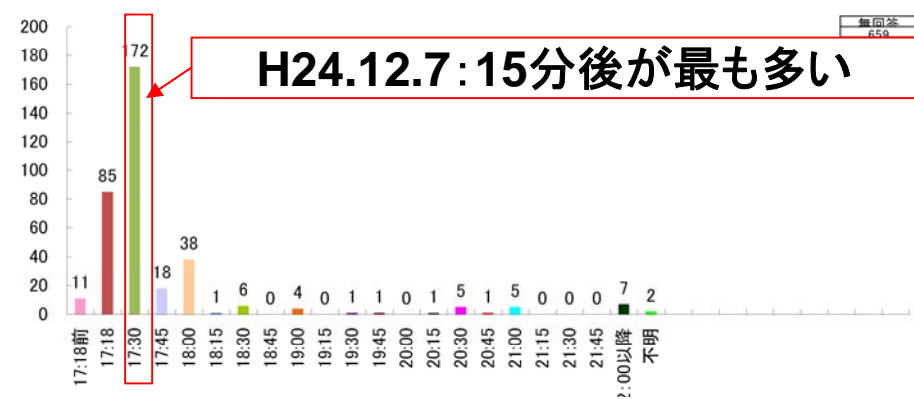
3. 避難開始時刻の比較

- 避難開始時刻について、東日本大震災時、H24.12.7津波発生時、H25.6.9防災訓練の3つの集計結果を比較した。
- 避難開始時刻は、東日本大震災時とH24.12.7津波発生時は、15分後が最も多かったが、防災訓練時は、10分後が最も多かった。

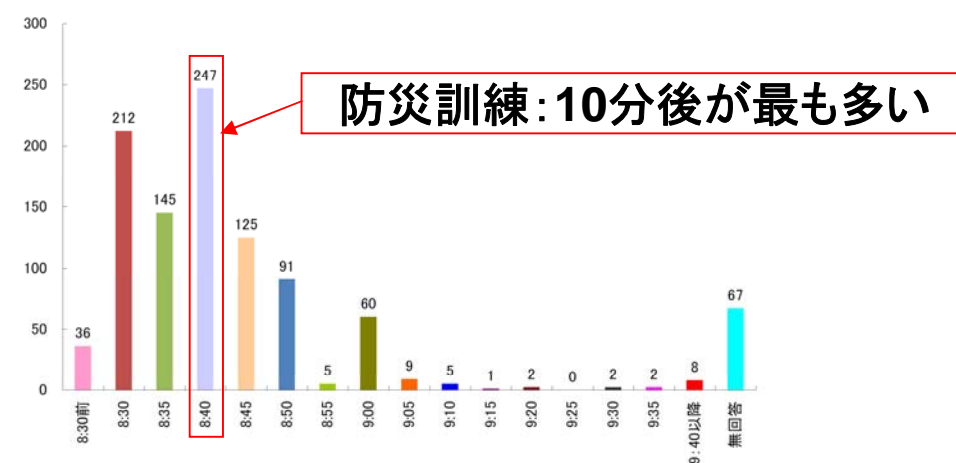
問8.東日本大震災当日の避難開始時刻



問14.12月7日当日の避難開始時刻

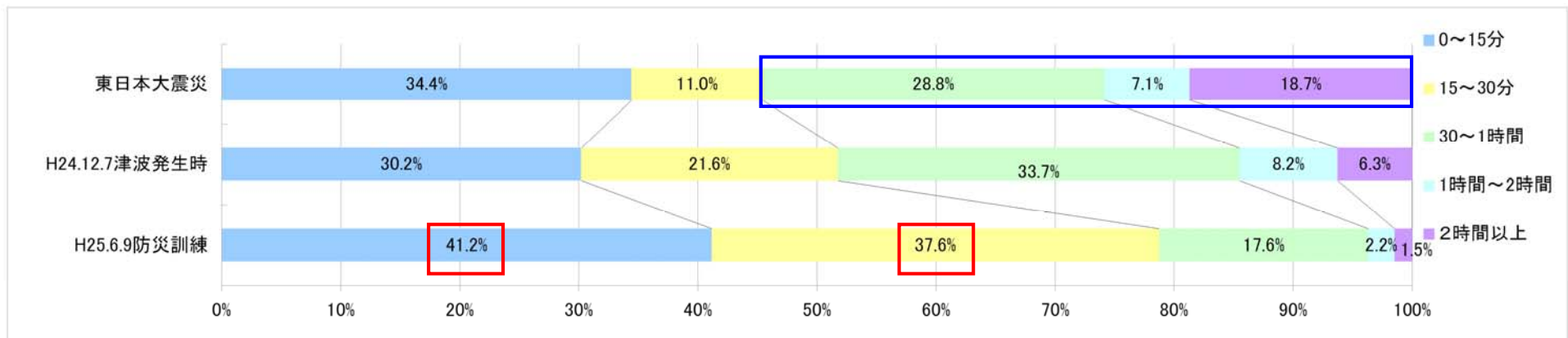


問2.避難開始時刻



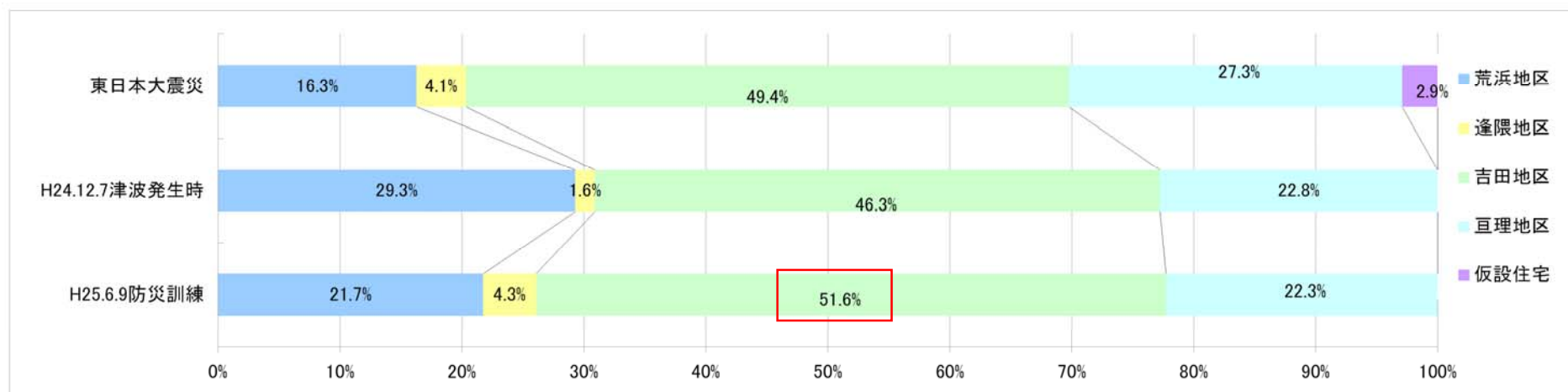
4. 避難時間の比較

- 避難時間について、東日本大震災時、H24.12.7津波発生時、H25.6.9防災訓練の3つの集計結果を比較した。
- 東日本大震災時より、防災訓練時の方が、「0～15分」、「15～30分」の割合が大きくなっている。
- 東日本大震災時においては、避難時間30分以上の割合が、50%以上を占める。



4. 避難時間の比較(避難時間30分以上の地区の割合)

- 東日本大震災時、H24.12.7津波発生時、H25.6.9防災訓練において、避難時間が30分以上かかった地区の内訳を以下に示す。
- 防災訓練時に避難時間が30分以上かかった人は、吉田地区の人の割合が最も大きい。

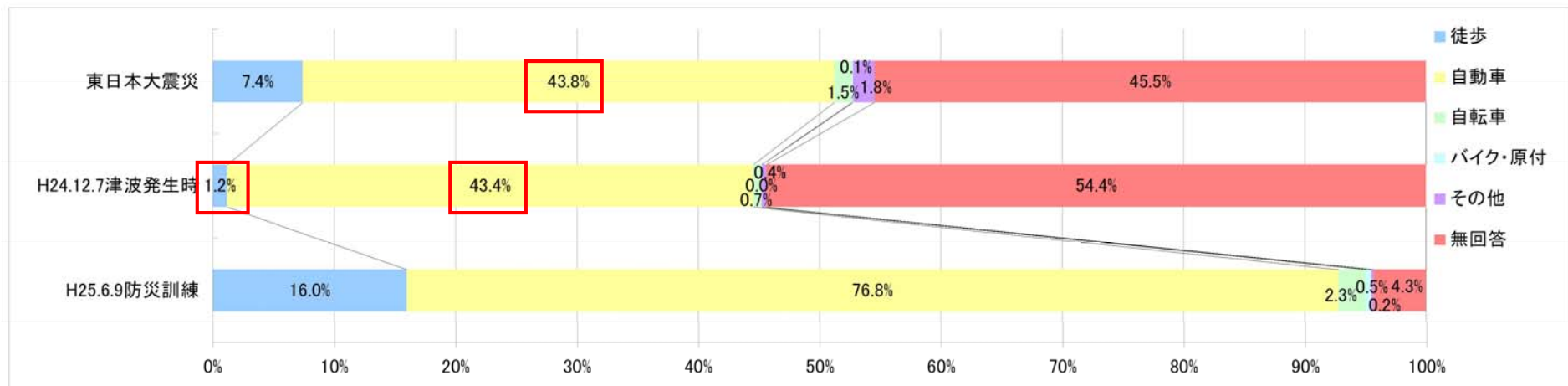


防災訓練時に避難に30分以上かかった人数と比率

項目	参加人数	避難に30分以上かかった人数	避難に30分以上かかった人の比率
吉田地区	534	85	15.9%
荒浜地区	202	28	13.9%
亶理地区	195	47	24.1%
逢隈地区	43	7	16.3%
仮設住宅	15	5	33.3%
不明	28	0	0.0%
合計	1,017	172	16.9%

5. 避難手段の比較

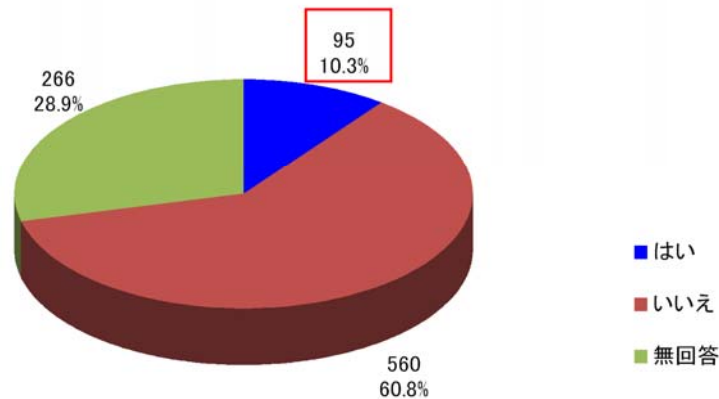
- 避難手段について、東日本大震災時、H24.12.7津波発生時、H25.6.9防災訓練の3つの集計結果を比較した。
- 避難手段は、「自動車」と回答した人が多かった。
- H24.12.7津波発生時においては、徒歩での割合が1.2%と少なかった。
- 3ケースとも、「自動車で避難した」と回答した人は、250人いた。(全回答数1,017人)



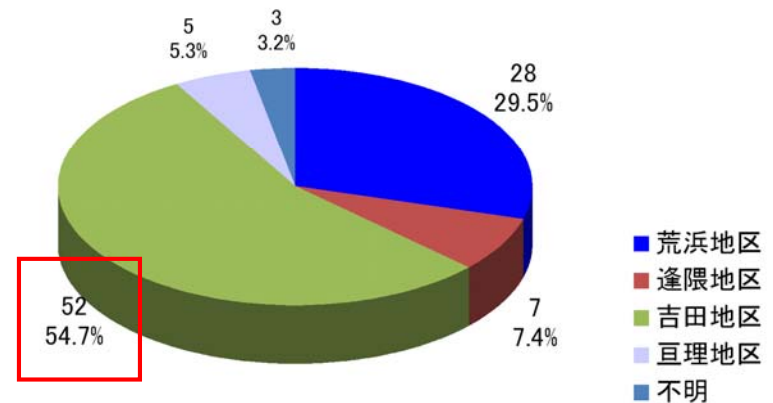
6. 渋滞に巻き込まれたか、巻き込まれた地区の内訳

- H25.6.9防災訓練において、渋滞に巻き込まれたと回答した人は、10.3%であった。
- 渋滞に巻き込まれた人のうち、半数以上が吉田地区の人であった。

問5-1.渋滞に巻き込まれたか



問5-1.渋滞に巻き込まれた人の地区

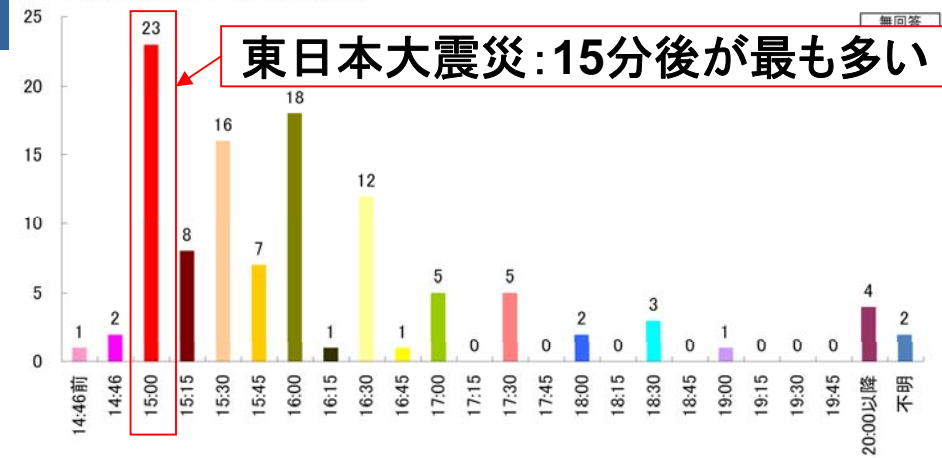


項目	車で避難した人数	渋滞に巻き込まれた人数	渋滞に巻き込まれた人の比率
吉田地区	417	52	12.5%
荒浜地区	191	28	14.7%
亘理地区	125	5	4.0%
逢隈地区	34	7	20.6%
仮設住宅	6	0	0.0%
不明	6	3	50.0%
合計	779	95	12.2%

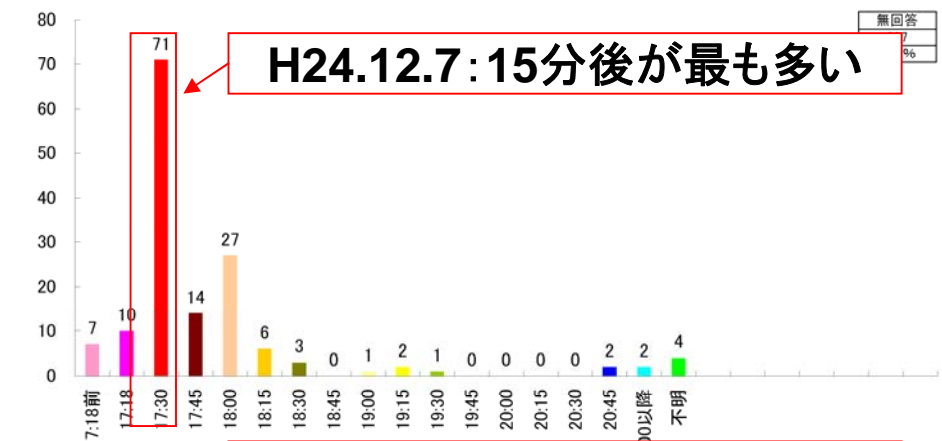
7. 渋滞に遭遇した時刻の比較

- 渋滞に遭遇した時刻について、東日本大震災時、H24.12.7津波発生時、H25.6.9防災訓練の3つの集計結果を比較した。
- 渋滞に遭遇した時刻は、東日本大震災時とH24.12.7津波発生時は、15分後が最も多かった。

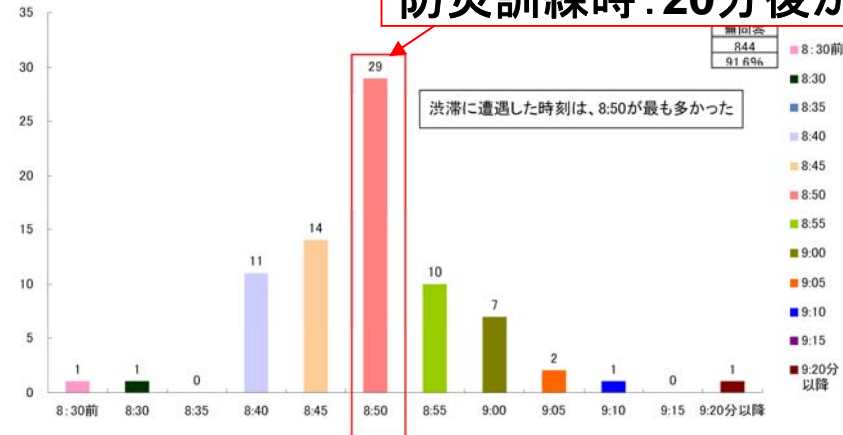
問11-1.東日本大震災当日渋滞に遭遇した時刻



問17-1.12月7日当日避難中渋滞に遭遇した時刻

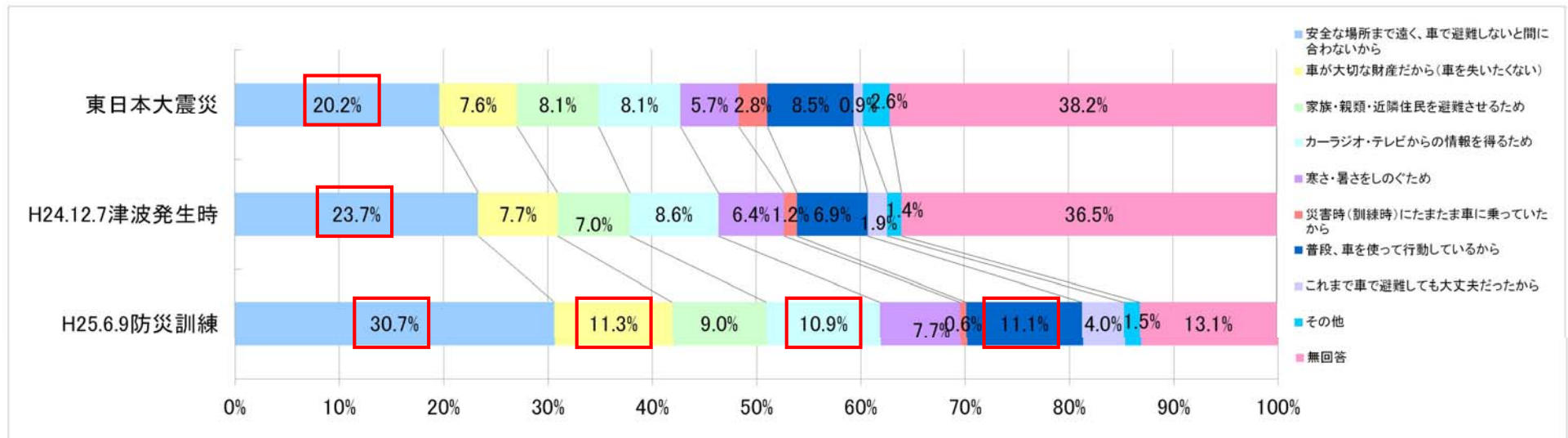


問5-1.渋滞に遭遇した時刻



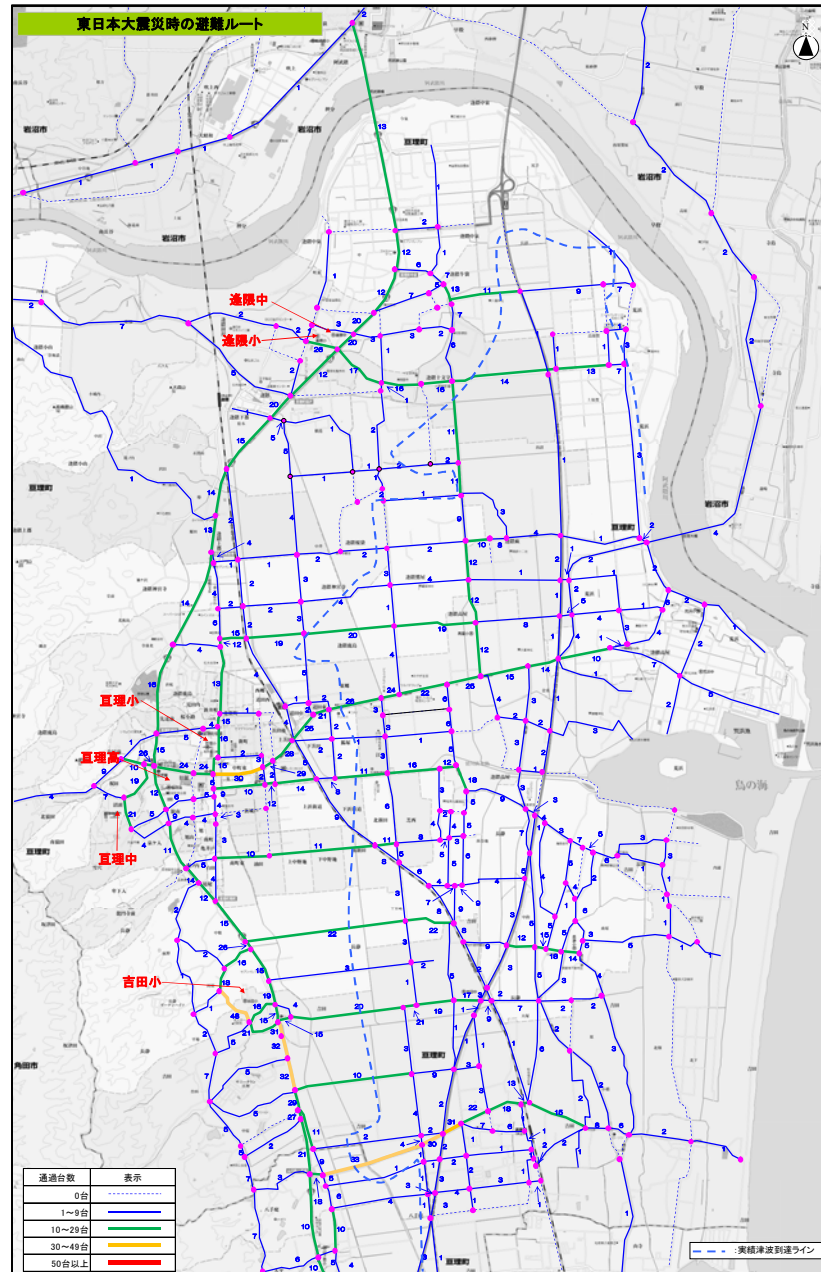
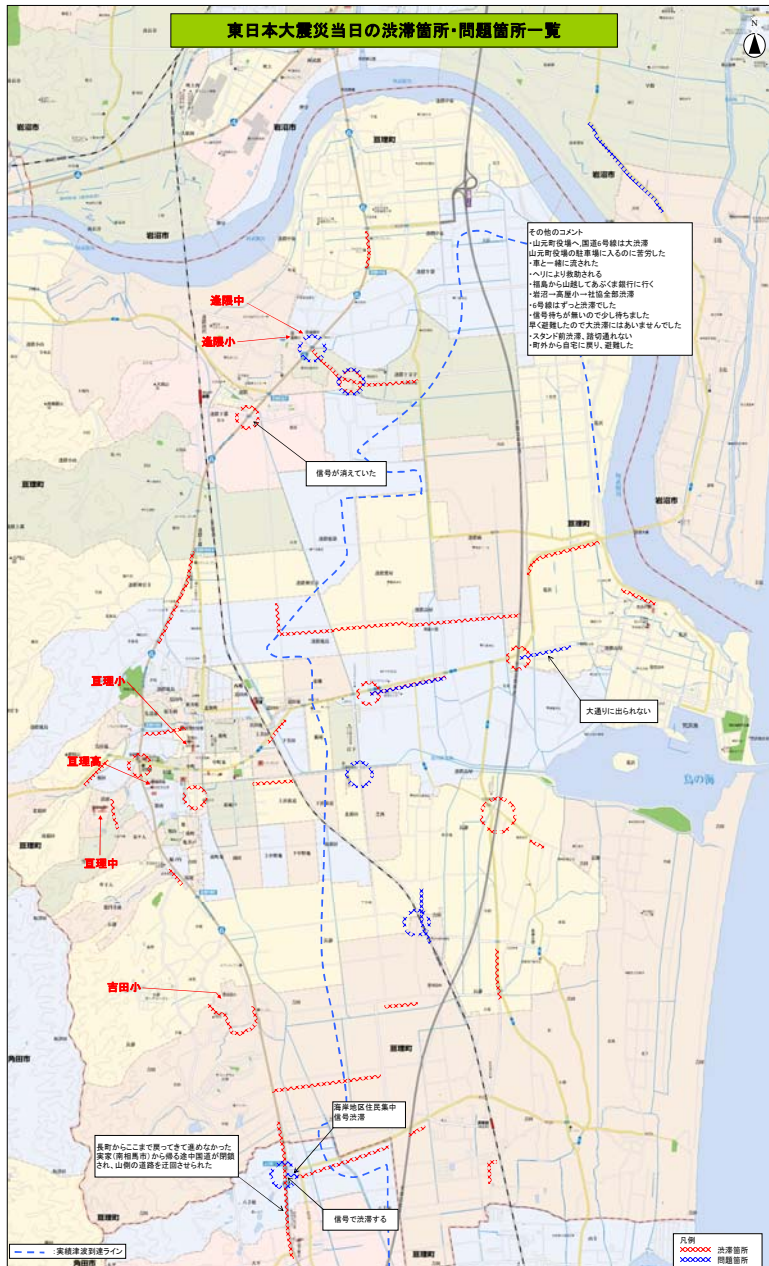
8. 車を使う重要性の比較

- 車を使う重要性について、東日本大震災時、H24.12.7津波発生時、H25.6.9防災訓練の3つの集計結果を比較した。
- 「安全な場所まで遠く、車で避難しないと間に合わないから」と回答する人の割合が大きい。
- また、「車が大切な財産だから」、「普段車を使って行動しているから」、「カーラジオ・テレビからの情報を得るため」と回答する人も多かった。



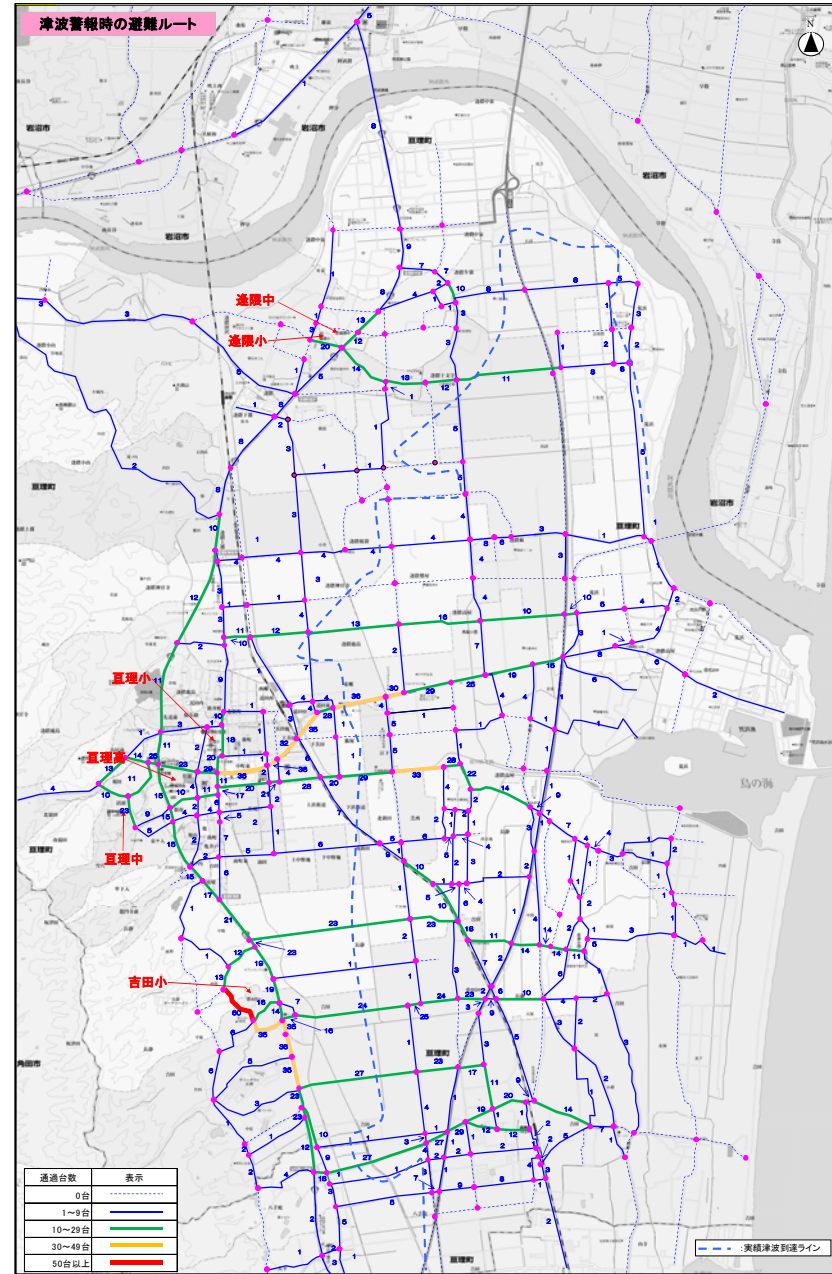
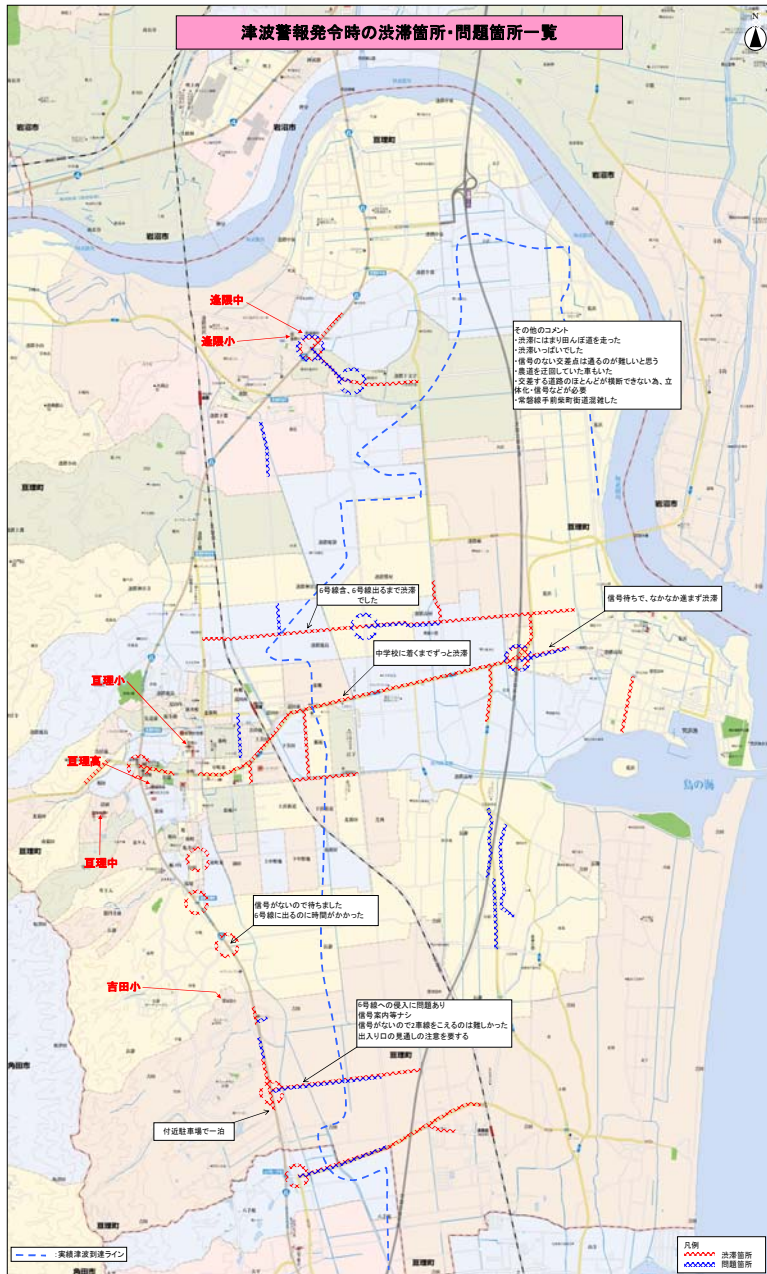
9. 避難ルートと渋滞箇所(H23.3.11 東日本大震災時)

・国道、県道との交差点部において、渋滞が発生していたという結果であった。



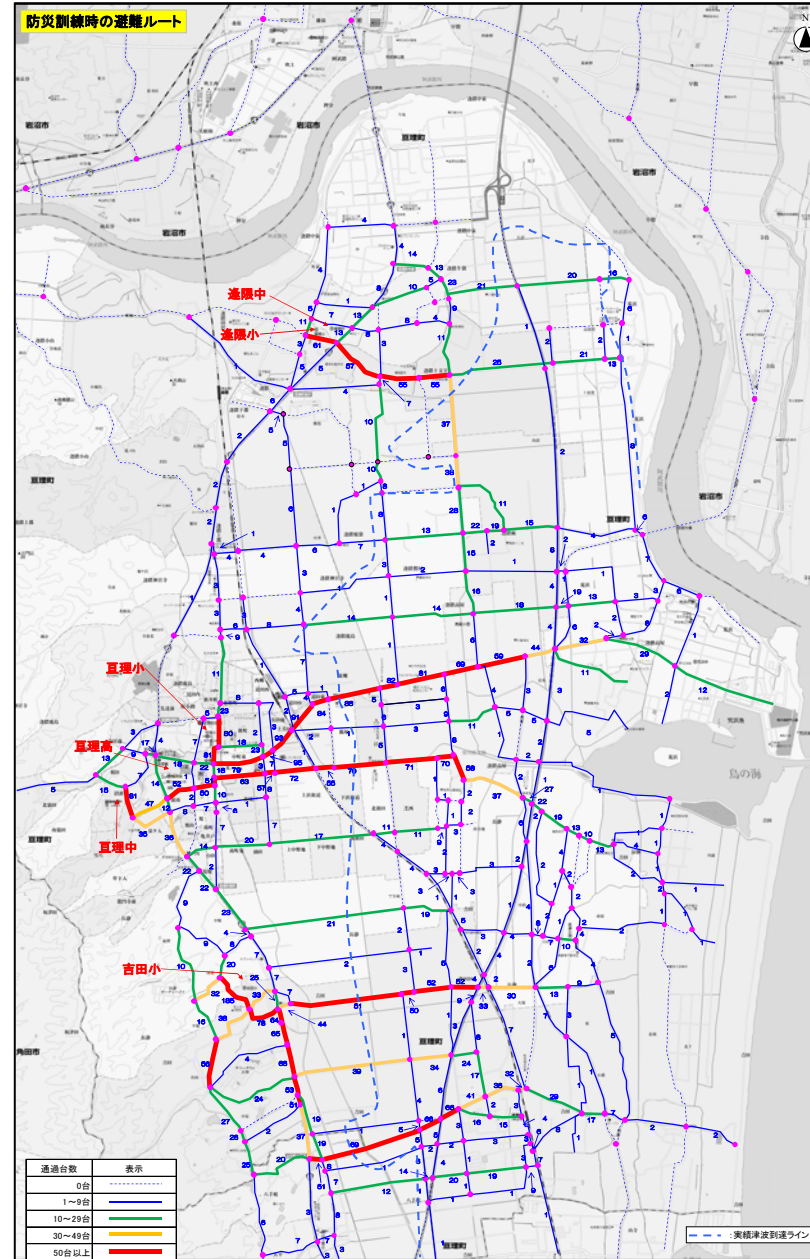
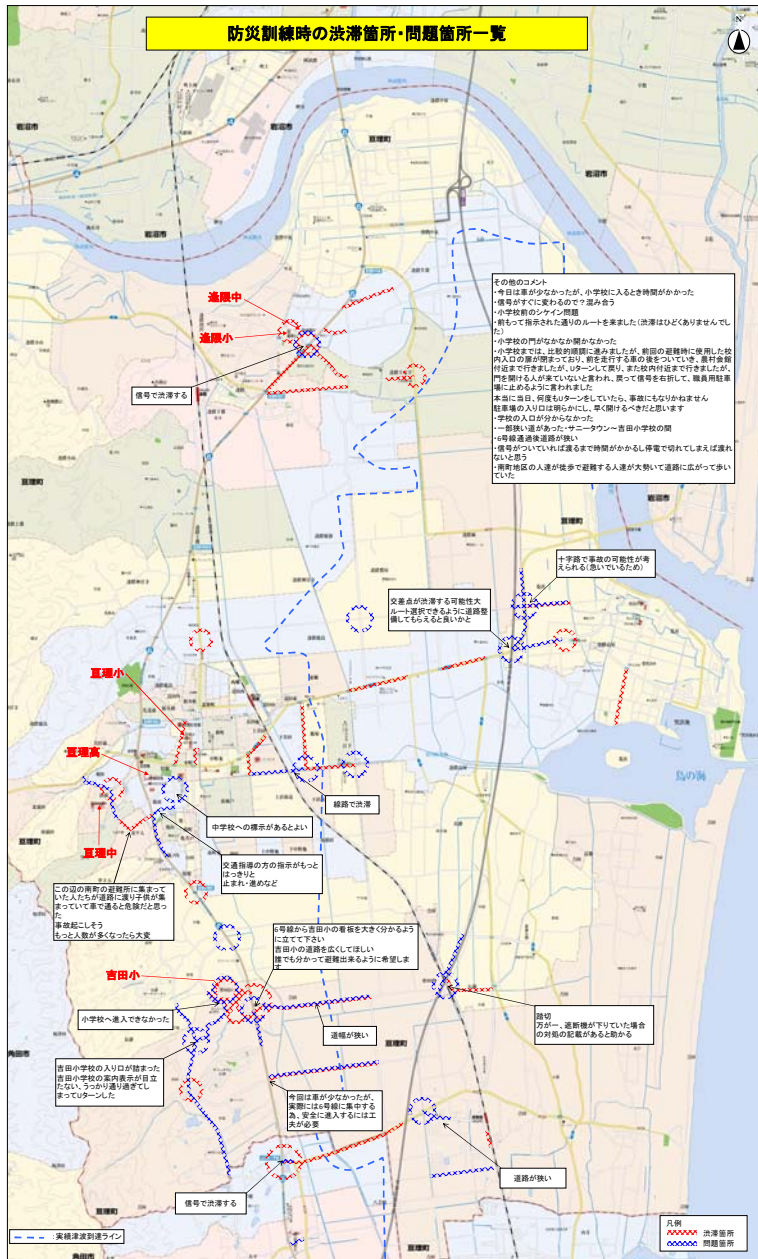
9. 避難ルートと渋滞箇所(H24.12.7 津波警報発令時)

・国道、県道との交差点部以外の街路においても渋滞が発生していたという結果であった。



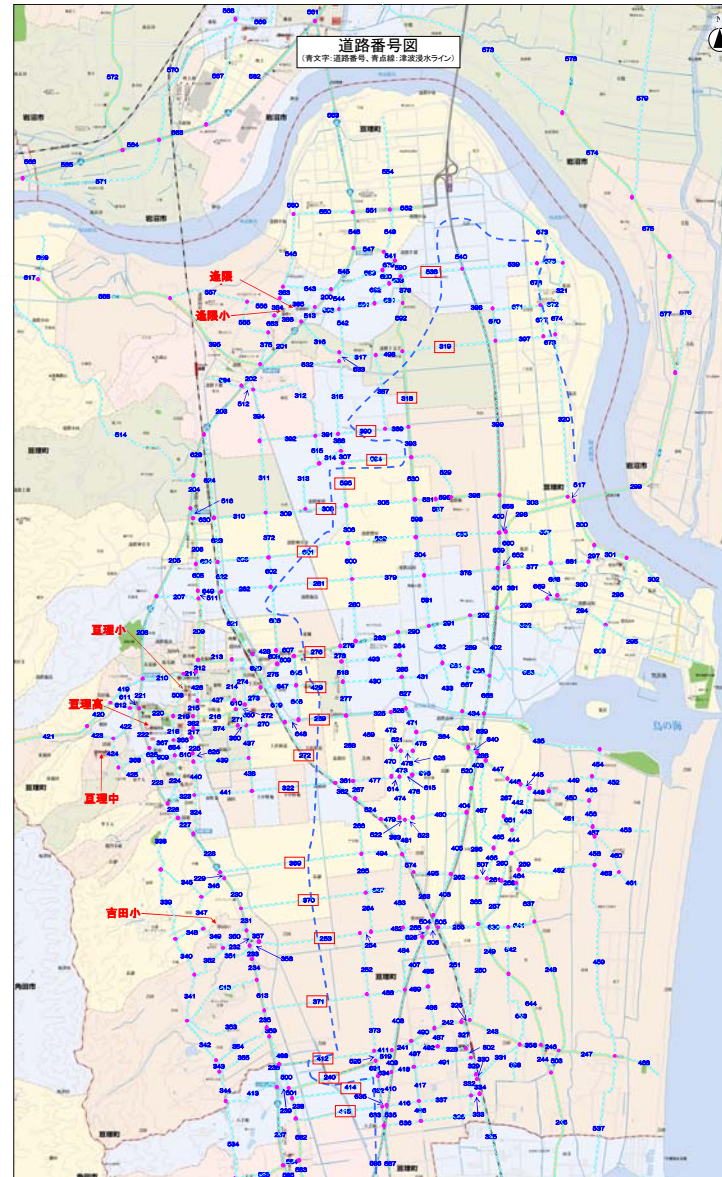
9. 避難ルートと渋滞箇所(H25.6.9 防災訓練時)

・国道との交差点部において、渋滞が発生した。



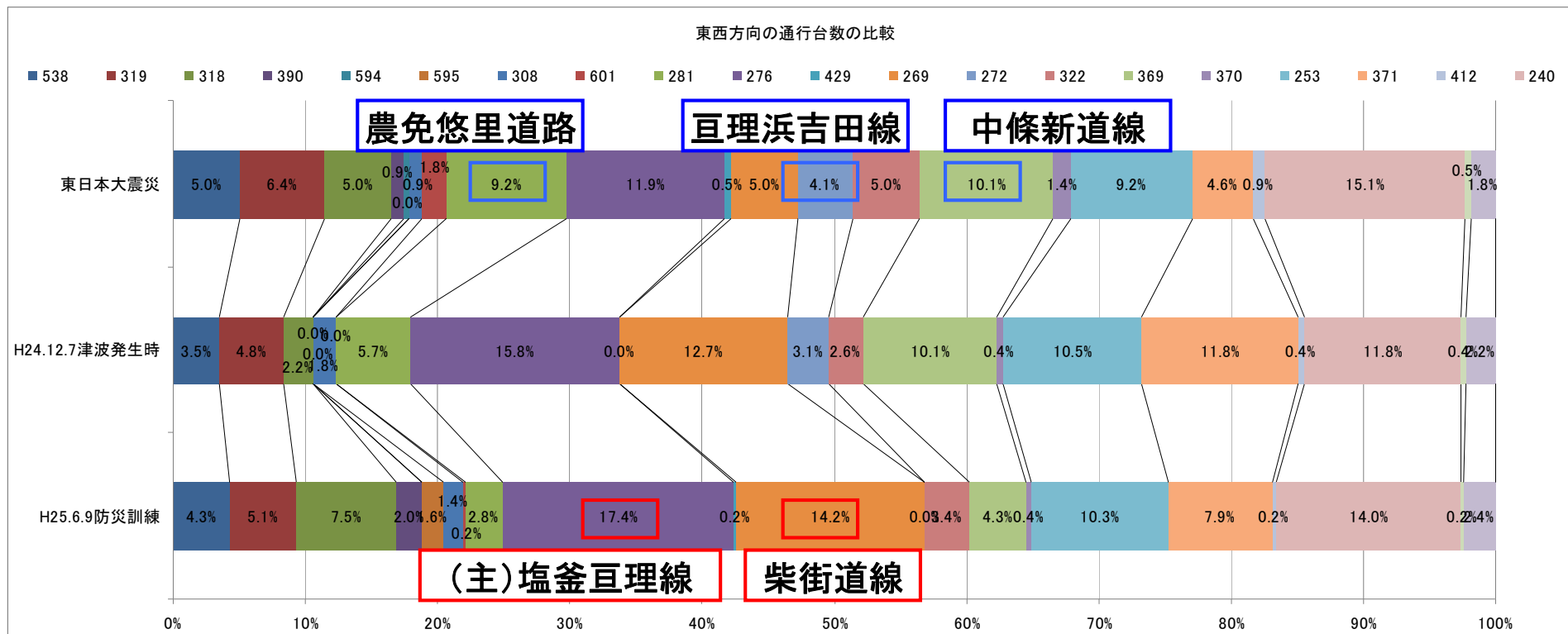
10. 東西方向の交通量の比較

- 東日本大震災時、H24.12.7津波発生時、H25.6.9防災訓練の3ケースについて、東西方向の交通量の比較を行った。



10. 東西方向の交通量の比較

- 東日本大震災時、H24.12.7津波発生時、H25.6.9防災訓練の3ケースについて、東西方向の交通量の比較を行った。
- 主要地方道塩釜亘理線、柴街道線は増加、農免悠里道路、亘理浜吉田線、中條新道線は減少傾向にある。



路線番号276： 主要地方道塩釜亘理線 269： 柴街道線
路線番号281： 農免悠里道路 272： 亘理浜吉田線 369： 中條新道線

10. 東西方向の交通量の比較

- 主要地方道塩釜亶理線、柴街道線は増加、農免悠里道路、亶理浜吉田線、中條新道線は減少傾向にある。

